

2026(令和8)年7月16日
報道発表資料[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
広報担当:山本、山形、儀三武

<ロームシアター京都10周年記念事業>

ロームシアター京都 レパートリーの創造 ホープス

野村真人 『吉日再会』／新作『観光客』



「故郷」や「家族」を創作の中心的主題としてきた野村真人。

対峙しあう人物のあいを繊細に浮かび上がらせる『吉日再会』と、

その主題を新たな視点で問い直す、新作『観光客』。

『吉日再会』2026年10月30日(金)～11月1日(日)

『観光客』2026年11月6日(金)～11月8日(日)

ロームシアター京都 ノースホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:山本、山形、儀三武

電話:075-771-6051(10:00～17:00) FAX:075-746-3366

E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp <https://rohmtheatrekkyoto.jp/>

■企画概要

この度、京都の若手アーティストと世界を目指すプロジェクト「ロームシアター京都 レポートリーの創造ホープス」において、野村真人がリクリエーションの後、旧作『吉日再会』を上演。さらに、昨年度のワーク・イン・プログレス(試演会)を経て、新作『観光客』を発表します。

『吉日再会』は、台北市(台湾)で2026年7月下旬から8月上旬にかけて開催される「北投小戯節(Beitou Art Festival)」に参加。新作『観光客』も今後の世界展開を見据えています。

■作品について

『吉日再会』

仕事と親子をめぐる、ささやかな演劇が見つめるものとは

2024年の大阪初演に新たな演出を加え上演する本作。

精神科訪問看護師として長年にわたり働いた父と、俳優として活動する息子の二人が出演し、それぞれが自らの役割を演じることで、訪問看護の現場を舞台上に再現します。対話を通して相手の心を見つめようとする看護師の父と、自らでない他の誰かを演じる息子は、看護師と俳優との職業的な関係、そして親子という私的な関係のあわいに揺れながら、他者との普遍的な紐帯を模索する一方で、共に老いて行く現実を見つめています。

演出:野村真人

出演:瀬戸沙門(レトロニム)、瀬戸敏由紀

舞台監督:小林勇陽

照明:魚森理恵(kehaiworks)

音響:林実菜

ドラマトゥルク:長澤慶太

字幕操作:武内もも(レトロニム)

制作:伴朱音、眞鍋隼介(ロームシアター京都)



『吉日再会』舞台写真(2026年度ワーク・イン・プログレス) 撮影:中谷利明

■作品について

新作『観光客』

故郷と観光地、家族と観光客。私たちの現在を映し出す新たな「観光」の姿

新作となる本作において、野村が選んだのは「観光」というキーワード。これまで野村が創作の中心としてきた「故郷」や「家族」という主題を、多くの社会的課題を残しながら、ますます身近な出来事として人々の注目を集める「観光」という視点から描き出す。個人の記憶や経験の聞き取りをもとに創作した、2026年のワーク・イン・プログレス公演『観光』(仮)を経て、より多層的な群像へと、新たに迎える俳優とともに新作公演『観光客』を上演する。

演出:野村真人

出演:田辺泰信、田端奏衛、山西由乃(Gesu©)、菱井喜美子(人間座)、瀬戸沙門(レトロニム)

舞台監督:小林勇陽

照明:魚森理恵(kehaiworks)

音響:林実菜

ドラマトウルク:長澤慶太

字幕操作:武内もも(レトロニム)

制作:伴朱音、眞鍋隼介(ロームシアター京都)



新作『観光客』舞台写真(2026年度ワーク・イン・プログレス) 撮影:中谷利明

■公演情報

『吉日再会』

開催日時:

2026年10月30日(金)19:00
10月31日(土)14:00*/19:00
11月1日(日)14:00
*託児あり

会場:ロームシアター京都 ノースホール

上演言語:日本語

字幕言語:英語

新作『観光客』

開催日時:

2026年11月6日(金)19:00
11月7日(土)14:00 */19:00
11月8日(日)14:00
*託児あり

会場:ロームシアター京都 ノースホール

上演言語:日本語

字幕言語:英語

『吉日再会』公演ページ: <https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/148450/>

新作『観光客』公演ページ: <https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/148434/>

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

企画制作:ロームシアター京都(『観光客』のみ)

助成:クリエイター支援基金

協力:レトロニム

京都芸術センター制作支援事業

KYOTO EXPERIMENT 2026 提携プログラム

■チケット料金

『吉日再会』

全席自由(税込)

3,000円(会員価格2,700円*)

ユース(29歳以下):2,500円

18歳以下:1,000円

『吉日再会』『観光客』セット券:5,300円

新作『観光客』

全席自由(税込)

3,800円(会員価格3,400円*)

ユース(29歳以下):2,500円

18歳以下:1,000円

『観光客』『吉日再会』セット券:5,300円

※未就学児入場不可。

※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

*会員:サポーター・パートナー制度(「鑑賞で応援!コース」)、京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club、京響友の会

■チケット取扱

7月11日(土) 先行発売

7月18日(土) 一般発売開始

・オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> ※要事前登録(無料)

・ロームシアター京都 チケットカウンター TEL:075-746-3201

(窓口・電話とも10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

・京都コンサートホール チケットカウンター TEL:075-711-3231

(窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館日 ※休日の場合は翌平日)

■観劇サポート

・車椅子でご来場のお客様へ

本公演では車椅子席のご用意がございます。座席位置・提供数に限りがございますので、下記までお問合せください。なお、同伴の介助者がいらっしゃる場合もあわせてご相談下さい。

お申込・お問い合わせ:

ロームシアター京都チケットカウンター Tel: 075-746-3201

・福祉専用駐車場のご利用ならびに車椅子のお貸出しも承っております

・きこえにくいお客様へ

ヒアリンググループ対応のお席がございます。磁気コイル付補聴器・人工内耳を装用の方に、舞台音声を伝える機器をご用意しています(専用受信機の無料貸出)。

座席位置・提供数に限りがございますので、ご予約・お問合せをお願いします。内容を確認後、こちらから折り返しご連絡いたします。

福祉専用駐車場、車椅子、ヒアリンググループ

申込方法:

件名「観光客 観劇サポート」①お名前 ②連絡先 ③観劇日時 ④希望するサポート内容 ⑤利用人数
⑥介助者の有無をお電話でお話いただくか、FAX、Emailにご記入の上、お申込みください。

ご予約・お問合せ先:

ロームシアター京都

TEL: 075-771-6051 (10:00 ~ 17:00 、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり

FAX: 075-746-3366

Email: accessibility[★]rohmtheatrekkyoto.jp ※ [★] は@に変えてください

■プロフィール



Photo by shimizu kana

作・演出

野村真人(Masato Nomura)

1991年生まれ。演出家。レトロニムのメンバー。京都を拠点に2016年から演劇作品を劇場内外で制作・発表している。人・場所・環境の現実的な関係に演劇を引用し、アクチュアルなフィクションに再構築する。精神科訪問看護と親子をモチーフにした『吉日再会』(2024)などの上演作品や、自身の家族の故郷である青森で行った墓参りを題材にした『そうか、おまえいまそこにいるのか』(2024)、高齢者デイサービス利用者との交流から生まれた『わからないのがいいでしょう?』(2024)などの展示作品がある。ロームシアター京都〈レパートリーの創造 ホープス〉アソシエイト・アーティスト。2024年度ACY アーティスト・フェロー。利賀演劇人コンクール2018優秀演出家賞。2024年度文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間ドイツ・ベルリンで研修。

ウェブサイト:<https://masatonomura.jimdofree.com/>

■関連イベント

“いま”を考えるトークシリーズ Vol.30

境界がとける、記憶が異化する、世界へ出会いなおす、
野村真人(演出家・レトロニム)×川瀬慈(映像人類学者)トーク

今回は、精神医療の現場や、家族・故郷といった親密な関係・場所への関心から近年の創作を行っている演出家・野村真人さんと、アフリカでのフィールドワークに基づき映像制作や詩作を行う映像人類学者・川瀬慈さんを迎え、私たちの現実認識と表現の関係性について考えていきます。

開催日時:2026年9月13日(日)14:00~16:00

会場:ロームシアター京都 パークプラザ3階共通ロビー

詳細:<https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/153676/>

■野村真人『吉日再会』台湾公演

開催日時:

2026年8月7日(金)19:30

8日(土)14:30/19:30

9日(日)14:30

会場:山峨二手書店-舊峨劇場(Ridge Theater)

上演言語:日本語

字幕:中国語

主催:北投小戯節

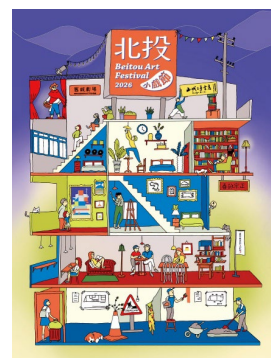
助成:クリエイター支援基金

企画制作:ロームシアター京都

■主催:北投小戯節(Beitou Art Festival)について

北投小戯節は、2020年末にコロナ禍のなか誕生した地域密着型のアートフェスティバル。公的機関主導ではなく民間の舞台制作会社によって設立され、日本の本多劇場の取り組みを参考にしつつ、上演だけでなく作品やアーティストの成長を支える仕組みを築くことを目標としている。2022年には劇場の外へと活動の場を広げ、北投における地域連携をスタートさせた。2024年からは、北投だけでなく士林や淡水周辺の教育機関や文化施設を結びつけ、創作拠点となることで「北投アートタウン」の実現を目指している。

ウェブサイト: <https://www.facebook.com/beitouartfestival/>



■会場:舊峨劇場(Ridge Theater)

台湾の伝統建築に見られる棟木の高い天井構造を残した中二階が特徴的な劇場。リノベーションと再活用を経て、現在は台北市北投区における舞台芸術のインキュベーション・プラットフォームとしても機能している。定員約30名規模の小さなパフォーマンス空間ではあるが、近隣の芸術大学の学生や教員、北投地域の芸術文化団体にとっては貴重な実験的な創作や上演の場となっている。山峨二手書店という本屋に併設されており、夜はバーとしてアーティスト同士の交流の場も提供している。



■レパートリーの創造 ホープス

「レパートリーの創造 ホープス」では、京都を拠点に活躍する若手演出家、野村真人・西田悠哉の2名をアソシエイト・アーティストに迎え、ともに作品をつくっていきます。京都から世界へ、気鋭の演出家の作品を発信します。

特設サイト:

<https://rohmtheatrekkyoto.jp/repertory/rohmtheatrekkyotorepitoryhorps/>

アソシエイト・アーティストの野村真人・

西田悠哉によるトークセッション映像を公開中！

<https://www.youtube.com/watch?v=5lkApuz5wJo>



■ロームシアター京都10周年記念事業

記念事業実施期間: 2025年10月31日～2026年12月31日

多彩な事業をお届けし、皆様とともに京都から「劇場文化」を育んできた

ロームシアター京都は、

2026年1月10日に10周年を迎えました。たくさんの「ありがとう」と、これからの「わくわく」を共有する特別なラインアップをどうぞお楽しみください。



■ロームシアター京都 レパートリーの創造・ホープス 合同取材会を開催！

ロームシアター京都プロデュース公演の開催に先がけ、合同記者取材会を開催します。

演出家の3名が揃う、大変貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

日時: 8月26日(水) 16:40～／受付: 16:30～

会場: ロームシアター京都 会議室

登壇:

西田悠哉(『暗黒の喜劇』)

野村真人(『吉日再会』、『観光客』)

和田ながら(『メンズ・ティー・パーティー』)

申込: <https://business.form-mailer.jp/fms/91262cbd357789>

※個別のご取材も受付けております。別途ご相談ください。

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 山本、山形、儀三武

電話: 075-771-6051(10:00～17:00) FAX: 075-746-3366

E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp <https://rohmtheatrekkyoto.jp/>